

公益信託 須田記念緑内障治療研究奨励基金 2021 年度 募集要項

公益信託 須田記念緑内障治療研究奨励基金は、熊本大学において眼科学の指導研究、特に緑内障の研究・治療に永年尽くされました故須田経字名誉教授により設立されました。緑内障またはその治療に関する優れた研究を助成するため、下記要項により助成金交付申請を募集いたします。

1 助成対象

緑内障に関する研究全般を対象とし、申請された研究課題に助成します。

2 応募資格

- ① 日本眼科学会会員である者
- ② 申請時において年齢 45 歳以下の者
- ③ 緑内障を専攻し、臨床・研究を継続する意志のある者
- ④ 緑内障治療研究に実績のある者
- ⑤ 日本国籍を有する者
- ⑥ 自薦・他薦は問わない

3 選考基準

- ① 研究計画が優れたものであり、かつ研究者の過去の実績等に照らし優れた成果が期待できること。
- ② 申請目的が緑内障治療研究に関するものであり、その資金使途が明確であること。
- ③ 申請内容に照らして、助成金の使途予定が適正であること。
- ④ 選考委員が申請者の遂行能力の高さを評価できること。

4 助成件数および金額

1～3 件 総額 300 万円

(1 件あたり 100 万円を標準とします。)

助成金を大学等の委任経理における間接経費に充当することはできません。

学会参加費および旅費への支出は助成金額の 2 割以内に止めるものとします。

5 応募方法

当基金所定の申請書に必要事項を記入し、下記宛先へご郵送ください。申請書は下記照会先記載の URL からダウンロードしてください。なお、応募書類は返却いたしませんのでご了承ください。

6 応募期間

2021 年 11 月 1 日(月)～2021 年 12 月 24 日(金)(当日消印有効)

7 選考方法および通知

募集締切後に開催する当基金運営委員会において選考決定のうえ、2022 年 3 月上旬に申請者に書面でその結果をお知らせします。

なお、助成対象者の氏名・所属等につきましては、公表させていただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。

助成金は、指定の銀行口座等(本人名義限定)へお振り込みします。

8 助成金使用報告

助成対象の研究終了後、2022 年 12 月末までに次の書類を受託者宛に提出していただきます。

- ① 助成金使用報告書(領収証等の確証を添付ください。)
- ② 研究結果概要報告書(A4 縦判用紙 3 枚程度、様式自由)

【申請書の提出先・照会先】

〒 105-8574 東京都港区芝 3-33-1

三井住友信託銀行 個人資産受託業務部 公益信託グループ

須田記念緑内障治療研究奨励基金 申請口

TEL : 03-5232-8910(受付：平日 9 時～17 時) / FAX : 03-5232-8919

申請書 URL <https://www.smtb.jp/personal/entrustment/public/example/list>

(※)公益信託とは

個人の方が公益活動のために財産を提供しようという場合や、法人が利益の一部を社会に還元しようという場合などに、信託銀行に財産を信託し、信託銀行は公益信託契約で定められた公益目的に従ってその財産を管理・運用し、公益活動を行う制度です。

学 会 告 知 板**公益信託 須田記念緑内障治療研究奨励基金
令和 2 年度(第 34 期)助成対象者のご報告**

令和 2 年度は、多くの応募者のなかから厳正なる審査の結果、下記の方々に、研究助成金として各 100 万円を給付し、「第 32 回日本緑内障学会」で報告いたしました。

1. 藤原康太(九州大学病院眼科)
前視野緑内障の疫学エビデンスの構築：久山町研究
2. 平澤一法(北里大学医学部眼科学)
早期緑内障眼における構造(細胞・血管)と機能(視野)の関係を解明する研究
3. 藤代貴志(東京大学医学部眼科学教室)
高眼圧フェレットモデルにおける視覚中枢神経障害の検討

公益信託 須田記念緑内障治療研究奨励基金

運営委員長 新家 真

信託管理人 井上立州

第 26 回 公益社団法人 日本網膜色素変性症協会(JRPS)研究助成のご案内

公益社団法人 日本網膜色素変性症協会 (Japanese Retinitis Pigmentosa Society, JRPS) では、網膜色素変性とその類縁疾患の治療法開発のための研究に対し助成を行っております。第 26 回の応募要項は以下のとおりです。

対 象 ●網膜色素変性、網脈絡膜変性、ロービジョンに関する研究を行う研究者、または診療、教育、研究機関

研究期間 ●2022 年 4 月から 2023 年 3 月までに完結見込みの研究。

助成金額 ●200 万円 1 名、100 万円 1 名、100 万円 1 名(ライオンズ賞～40 歳以下の若手対象)

応募方法 ●①JRPS 研究助成申請 受付専用サイト (<http://jrps.org/apply-jrpsfund/>) よりご応募ください。

②JRPS 研究助成申請 受付専用サイトでは、指定フォームに、研究代表者名(フリガナ、生年月日)、研究機関名、住所、電話番号、E-mail アドレス、研究題目、研究実施計画(1,200 字以内)、研究計画と直接関係する業績目録を記入(直接入力)してください。

③関係する論文の別冊等、フォームに直接入力する以外の提出する資料は、すべて PDF ファイルに変換したうえで、ファイルを応募サイトよりアップロードして提出してください。

締め切り ●2022 年 2 月 28 日

※今回よりご応募の締め切りが 1 か月早くなりましたのでご注意ください。

選考方法 ●JRPS 学術審査委員の審査に基づいて理事会で決定し、結果は 2022 年 5 月末～6 月初めに、研究代表者にご連絡します。

学術審査委員長：千葉大学病院臨床試験部特任教授／独立行政法人地域医療機能推進機構本部病院支援担当理事 山本修一

お問い合わせ ●〒140-0013 東京都品川区南大井 2-7-9 アミューズ K ビル 4 階

公益社団法人 日本網膜色素変性症協会 事務局

Tel : 03-5753-5156 / Fax : 03-5753-5176 / E-mail : info@jrps.org

学会告知板

第55回眼科臨床病理組織研究会 (第92回九州眼科学会内)

日時 ●2022年5月27日(金)～29日(日)いずれか

会場 ●沖縄県市町村自治会館

〒900-0029 沖縄県那覇市旭町116-37

演題募集 ●病理組織の関連した症例報告などの一般演題を広く募集します。

演題名、抄録本文の形式や文字数は九州眼科学会の規定と同様。演題登録は、『第92回九州眼科学会』ホームページ「演題登録」よりお願いいたします。

演題締切日：九州眼科学会の演題募集の締め切り日

演題採用決定後、発表症例の標本(H-E染色)を事務局にお送りいただきます。

詳細につきましては、日本眼病理研究会事務局にお問い合わせ下さい。

※ご参加の方は、第92回九州眼科学会への参加登録をお願いいたします。

連絡先 ●〒812-8582 福岡県福岡市東区馬出3-1-1

九州大学眼科内 日本眼病理研究会事務局

担当：吉川・沖崎(yoshikawa.hiroshi.152@m.kyushu-u.ac.jp)

Tel：092-642-5648 / Fax：092-642-5663

学会告知板

The 14th Joint Meeting of Japan-China-Korea Ophthalmologists (第14回日中韓眼科ジョイントミーティング)

会期 ●2021年11月27日(土) Web開催

会長 ●堀 裕一(東邦大学医療センター大森病院眼科、教授)

園田康平(九州大学大学院医学研究院眼科学分野、教授)

主管校 ●東邦大学医療センター大森病院眼科

〒143-8541 東京都大田区大森西6-11-1

九州大学大学院医学研究院眼科学分野

〒812-8582 福岡市東区馬出3丁目1-1

参加登録 ●2021年7月20日(火)～12月27日(月)

参加登録費：5,000円

ホームページ ●<http://www.congre.co.jp/jmjcko2021/index.html>

詳細は随時ホームページにて公開させていただきます。

運営事務局 ●〒810-0001 福岡市中央区天神1-9-17-11F

株式会社コングレ 九州支社内

Tel：092-716-7116 / Fax：092-716-7143

E-mail：jmjcko2021@congre.co.jp

お問い合わせ等ございましたら、運営事務局までメールにてご連絡ください。運営事務局では、新型コロナウイルス感染防止のためリモートワークを行っております。

第 62 回日本視能矯正学会

会 期 ●ハイブリッド開催

現地開催：11月20日(土)・21日(日) 於 東京国際フォーラム ホール A

オンデマンド配信：12月3日(金)～17日(金)

学会長 ●南雲 幹(井上眼科病院)

名誉会長 ●井上賢治(井上眼科病院)

プログラム ●現地開催：

特別講演 「見える」を作り上げる脳のメカニズム

本吉 勇(東京大学大学院認知行動科学講座)

50周年記念シンポジウム 眼科医療と視能訓練士の展望

眼科医療の発展を見据えて 大鹿哲郎(筑波大学／日本眼科学会理事)

医療・保健政策を見据えた眼科医療 白根雅子(しらね眼科／日本眼科医会会長)

眼科医の立場から 佐藤美保(浜松医科大学／日本弱視斜視学会理事)

卒前教育の立場から 新井田孝裕(国際医療福祉大学／全国視能訓練士学校協会会長)

視能訓練士の立場から 南雲 幹(井上眼科病院／日本視能訓練士協会会長)

記念教育講演 1 小児眼科の診療と研究—過去から未来へ—

東 範行(国立成育医療研究センター／日本小児眼科学会理事)

記念教育講演 2 視能矯正のバトンをつなぐ

深井小久子(日本視能訓練士協会名誉会員)

50周年記念式典, 一般講演, 口演発表・ポスター発表, ランチョンセミナー, 機器・書籍展示

オンデマンド配信：

生涯教育セミナー, 認定視能訓練士セミナー, オンデマンドセミナー(共催セミナー)

参加登録 ●追加参加登録期間：2021年10月25日(月)～12月17日(金)

※詳細は学会ホームページにてご案内します。

問い合わせ先 ●第 62 回日本視能矯正学会 運営事務局

株式会社 JTB コミュニケーションデザイン コンベンション第二事業局内

〒541-0056 大阪府大阪市中央区久太郎町 2-1-25 JTB ビル 7F

E-mail : jaco62@jtbcom.co.jp

<https://convention.jtbcom.co.jp/jaco62/>

*新型コロナウイルスの感染拡大防止のためテレワークを実施中です。ご連絡はメールにてお願いします。

学会告知板

第47回日本小児眼科学会総会

会 期 ●2022年3月19日(土)・20日(日)
 オンデマンド配信期間 ●2022年4月1日(金)～17日(日)
 会 場 ●日本教育会館
 〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋 2-6-2
 会 長 ●仁科幸子(国立成育医療研究センター眼科)
 開催形態 ●現地開催を主としたハイブリッド形式(予定)
 テーマ ●みんなで育む!子どもの目と未来
 ホームページ ●<http://japo47.umin.jp/>



参加登録期間 ●2021年9月13日(月)～2022年4月17日(日)

プログラム ●【特別講演】小児の内眼手術 東 範行(日本小児眼科学会理事長)

【招待講演】ゲノム医療が拓く臨床医学の新地平 小崎健次郎(慶應義塾大学)

【シンポジウム】

1 難治性眼疾患の治療戦略

1)小児の難治性角結膜疾患 2)緑内障 3)腫瘍 4)小児視神経疾患の診断と治療

2 乳幼児健診アップデート～小児科と眼科の連携

乳幼児健診の現状と展望 阪下和美(東京都立松沢病院精神科)

新生児・乳児の視覚スクリーニング 大石 彰(浜松医科大学周産母子センター)

3 歳児眼科健診への屈折検査の導入 林 思音(国立成育医療研究センター眼科)

小児科診療所でできることと限界 矢嶋茂裕(矢嶋小児科小児循環器クリニック)

3 小児を取り巻くデジタルメディアの諸問題～眼科と小児科のトピックス

デジタルメディアの心身・睡眠への影響 神山 潤(東京ベイ・浦安市川医療センター)

デジタルメディアの視覚への影響 佐藤美保(浜松医科大学眼科)

デジタルメディアと近視 大野京子(東京医科歯科大学眼科学教室)

【教育セミナー】小児眼科診療カンファレンス～難症例を解く!

【視能訓練士セミナー】子どもの検査を極めよう!

【第34回日本小児眼科学会講習会】小児眼科診療セミナー

【オンラインセミナー】専門医志向者向け 小児眼科のABC

メディカルスタッフ向け 子ども病院見学ツアー(仮)

運営事務局 ●株式会社グレス

〒105-0012 東京都港区芝大門 1-16-4 第二高山ビル 6 階

E-mail: japo47@gressco.jp / Tel: 03-6435-9885

公益財団法人 高齢者眼疾患研究財団
2021 年度「研究助成」応募のご案内

財団法人 高齢者眼疾患研究財団は 1993 年に、高齢者の視力障害をきたす疾患に関する調査・研究・国際協力等を行い、国民の健康の増進および眼科学の進歩に寄与することを目的に設立しました。

その後 2013 年に、内閣総理大臣の認定を受け、公益財団法人 高齢者眼疾患研究財団となりました。

当財団は活動の一環として、「悪性糖尿病網膜症等高齢者の視力障害をきたす疾患の予防および治療に関する調査研究」に対し下記の要件にて研究助成を実施しております。

対 象 ●悪性糖尿病網膜症等高齢者の視力障害をきたす疾患の予防および治療に関する調査研究(個人研究、共同研究可)

資 格 ●応募者の職務は常勤が望ましい

研究期間 ●2022 年 4 月から 2023 年 3 月までに完結見込みの研究

助成金額 ●1 件 100 万円

締め切り ●2021 年 12 月 15 日 必着

応募方法 ●申請書等用紙は、返信用封筒(210 円切手貼付)を同封のうえ、本財団に請求すること
※申請書をデータで請求する場合、本財団ホームページ(www.rfeda.or.jp/)の研究助成事業よりダウンロードすること

応募書類請求先/送付先 ●公益財団法人 高齢者眼疾患研究財団

〒 250-0042 神奈川県小田原市荻窪 1772 番地

佐伯眼科クリニック内 事務局：医師 佐藤貴子

TEL：0465-32-7526

FAX：0465-32-1177

選考方法 ●高齢者眼疾患研究財団助成選考委員会の審査に基づいて理事会で決定する。結果は 2022 年 2 月末までに、研究代表者に連絡する

助成金の交付 ●助成決定者に対し、2022 年 3 月以降に交付する

研究結果発表 ●研究終了 1 年以内に研究実績報告書を提出すること

※研究成果を学術雑誌に発表する際には、高齢者眼疾患研究財団の研究助成を受けていることを明示すること

その他 ●助成対象事業に係る収入および支出を明らかにした帳簿(証拠書類を含む)を備えること

公益財団法人 高齢者眼疾患研究財団
〒 250-0042 神奈川県小田原市荻窪 1772 番地
TEL：0465-32-7526
FAX：0465-32-1177
ホームページ：www.rfeda.or.jp/
理事長 佐伯宏三

学 会 告 知 板

第 60 回日本白内障学会総会／第 47 回水晶体研究会

会 期 ●2021 年 11 月 26 日(金)・27 日(土)

会 場 ●新横浜プリンスホテル

会 長 ●第 60 回日本白内障学会総会：神谷和孝(北里大学医療衛生学部視覚生理学)
第 47 回水晶体研究会：高田 匠(京都大学複合原子力科学研究所)

主 催 ●北里大学医療衛生学部視覚生理学

〒 252-0373 神奈川県相模原市南区北里 1-15-1

ホームページ ●<https://convention.jtbcom.co.jp/jsr60/>

プログラム(予定) ●特別講演「多焦点レンズとのつきあい方」

演者：清水公也 (山王病院アイセンター・国際医療福祉大学)

招待講演「Synergy of two age-related modifications, deamidation and oxidation, as drivers of lens protein aggregation in cataracts」

演者：Kirsten J. Lampi(Oregon Health & Science University)

合同シンポジウム「白内障研究者・術者が今知っておきたい最新情報」

水晶体研究会シンポジウム「過去研究の Discovery と私の水晶体研究」

白内障学会シンポジウム「白内障手術のアンメットニーズを探る」

学術賞受賞記念講演，一般講演，ランチョンセミナー，イブニングセミナー，器械展示，書籍展示

参加登録 ●

区分	当日登録
会員	12,000 円
非会員	16,000 円
企業	14,000 円
研修医／大学院生／メディカルスタッフ	3,000 円
学生(大学生，短大生，専門学生，留学生)	1,000 円

※詳細については，本会ホームページ「参加登録」をご確認ください。

運営事務局 ●第 60 回日本白内障学会総会・第 47 回水晶体研究会 運営事務局

株式会社 JTB コミュニケーションデザイン 事業共創部 コンベンション第二事業局内

〒 105-8335 東京都港区芝 3-23-1 セレスティン芝三井ビルディング

Tel：03-5657-0775 / Fax：03-3452-8550 / E-mail：jsr60@jtbcom.co.jp

第 19 回近畿弱視斜視アフタヌーンセミナーの案内

ー弱視・斜視の基礎と最新情報シリーズー

「弱視・斜視の基礎・臨床と最新情報ーその 4ー」

Live 配信日時 ●2022 年 2 月 19 日(土) 15:00~17:30

※Zoom を使い、質疑応答あります。

※配信ソフトを Zoom に変更しました。

On demand 配信期間 ●2022 年 2 月 20 日(日)~3 月 6 日(日)まで

※Live 配信したものをビデオで配信します。On demand 視聴のみでも下記登録が必要です。

- 講 演 ●1. 弱視と間違いやすい疾患とその診断のコツ 築留英之(三重大)
2. 近視性後天性内斜視の臨床と最新情報 稗田 牧(京都府立医大)
3. 乳児内斜視の眼球運動異常ーその基礎と臨床ー 雲井弥生(淀川キリスト教病院)
4. 小切開斜視手術の限界と注意点 近江源次郎(近江眼科クリニック)
5. 高 AC/A 型調節性内斜視の臨床と最新情報 菅澤 淳(大阪医大)
6. レチノスコピーの基本と応用ー教育ビデオ供覧ー 内海 隆(内海眼科医院)
※討論時間を設けてあります。質問や追加を座長の指示でなさってください。

インターネットサイト ●<https://sec.tobutoptours.co.jp/web/evt/19kinkisa/>

登録料 ●医師 3,000 円・非医師 1,000 円

登録・視聴は上記サイトから行ってください。

登録は 2021 年 11 月 19 日(金)から受け付け、折り返し抄録集と領収書を送信します。

主 催 ●近畿弱視斜視研究会

(不二門 尚, 木村亜紀子, 雲井弥生, 初川嘉一, 稗田 牧, 三宅三平, 森本 壮, 村木早苗, 野村耕治, 近江源次郎, 佐々本研二, 白井久美, 菅澤 淳, 杉山能子, 築留英之, 横山 連, 内海 隆)(以上 17 名・ABC 順)

参天製薬株式会社

WEB 開催関係問い合わせ先 ●藤波秀和(参天製薬株式会社)

Tel: 080-8336-2613 / E-mail: hidekazu.fujinami@santen.com

事務局 ●内海 隆(医療法人 内海眼科医院 Tel: 072-626-1223)